

2020 年度熊本国税局酒類鑑評会  
「つるし八千代伝」代表賞受賞  
2020 年 7 月中旬 Moon シリーズ 1,800ml 発売

糖蜜熟成。



つるし芋仕込み  
「つるし 八千代伝」  
本格焼酎（芋焼酎）  
Alc.25% 1,800ml  
税込 3,300 円  
酒質：蜂蜜、リンゴ蜜、紅茶

水結芋仕込み  
「Crio クリオ」  
本格焼酎（芋焼酎）  
Alc.25% 1,800ml  
税込 3,300 円  
酒質：ストロベリー、南国果実

ご購入は全国八千代伝特約酒販店、又は弊社へお問い合わせください。  
農業法人 八千代伝酒造（株）10:00~17:00 日祝定休  
〒891-2122 鹿児島県垂水市上町 71 電話 0994-32-0024/FAX0994-32-0159  
メール yachiyoden@yagishuzou.co.jp

第 2 回

たるみず歴史・文化散歩

『落花生翁』

田中良八



大浜の国道沿いに立つ看板

落花生栽培の振興

文政 6 年（1823）、田中良八は新城の大浜で漁師の田中善兵衛の長男として生まれました。明治 12 年（1879）、漁業の先進地山川に視察に行き、滞在した宿屋で「琉球豆」という珍しい豆が出されました。宿屋の主人によると、それは中国から琉球へ伝わった「落花生」で、南京豆、地豆などと呼ばれるものでした。良八はその豆に興味をもち、10 粒を持ち帰り、試しに種を播いたところ、秋にみごとに収穫となりました。

農漁民の社会的経済的な地位の向上を目指していた良八は、換金作物を主体とする農業経営が必要だと考えていました。当時、新城は西南戦争の敗戦によって疲弊し、その復興は大きな課題でした。

村ぐるみで増産計画を進めたいと考えた良八は、落花生栽培 5 か年計画・栽培要項・指導要領を作成して戸長の中村思無邪氏を訪問し、説得に努めました。また、明治 16 年（1883）には花岡村の戸長を訪ねて落花生栽培を勧め、花岡は落花生の一大生産地となりました。

漁業・教育・宗教にも尽力

漁業振興

幕末の頃、新城近海で取れる鰯などを加工し、肥料として販売し、垂水や鹿屋にまで販路を広げていました。良八は漁獲高の多い八田網という敷き網を取り入れ、船も購入しました。また、網元（経営者）と網子（労働者）の漁獲の分配を網子に優遇しました。

教育振興

新城では学問所「松尾学館」が安永 8 年（1779）に設けられ、明治 4 年（1871）、松尾小学校と改められました。しかし、その頃農漁民の子どもは入学を許されませんでした。農漁民の子どもの教育の必要性を痛感していた良八は翌年、私塾を開き、この塾には下級士族も入っており、士族平民共学が実現されました。

宗教との関わり

薩摩藩では浄土真宗は禁止されましたが、明治 9 年（1876）9 月、鹿児島県は信教の自由公認の布達を出しました。良八は村人に真宗信仰を勧め、自宅に説教所を設けるなど、真宗復興に尽力したと云われています。お寺の建設も目指しましたが、明治 35 年（1902）10 月 31 日に良八は病死しました。

その 4 年後、新城説教所（のちの妙蓮寺）が創設されて良八の宿願は実現されました。

参考文献：永田時吉『落花生翁田中良八伝』



旧妙蓮寺跡の墓地にある田中良八の墓石

墓碑に残された業績  
「田中良八氏は、学問をするだけの人ではなく、それを職業に役立てる人であった。また、理論だけを追う人ではなく、それを実行に移す人であった」